

夢実現



平成30年11月21日(水)

日向市立美々津中学校

校長 崎田 浩二

晩秋の候

季節は巡り、早晩秋の候を迎えました。二十四節気では、立冬を過ぎていますが、南国宮崎においては、昼間の気温はまだ20℃を超える日が続き、冬というより晩秋が合っている気がします。山々の紅葉もこれからが本番となる季節ですね。

「晩秋」といえば、私の頭の中に浮かぶのは、ミレーの「落ち穂拾い」という絵です。ミレーといえばフランスのバルビゾン派の画家で、主に農民をモチーフにした絵で有名です。他にも「晩鐘」「種をまく人」等有名な作品は多々ありますが、この「落ち穂拾い」を見ると当に今の季節感を感じさせられます。寒々しさの中にも人間らしい逞しさをかんじますね。ところで、現在県立美術館では、版画で有名なシャガール展が開催されています。時には、絵画に親しんでみてはいかがでしょうか？

学校では？

1 学校では、10月の文化祭の後、年間の大きな行事を終え、生徒も教師も一息ついている感があります。その中で、11月4日(日)、5日(月)、7日(水)に**中体連県大会**が行われました。天候にも恵まれ、どの部活動も現在の力を出し切ってくれました。4日(日)女子テニスは、最終ゲームにもつれ込む大接戦の末に東大宮中に惜敗しました。また、翌5日(月)には野球部が2回戦を岡富中に3-1で勝ち上がりましたが、準々決勝で宮崎中に1-3で惜しくも敗れました。女子バレーは、2年生2人、1年生5人ながら、東大宮中を相手に健闘しました。卓球は7日(水)に行われ、個人戦で1年生の橋本煌佑君が出場し、1回戦を3-0で突破しましたが、2回戦で残念ながら敗れました。

どの部活動も若いチームであり、今後につながる試合であり、子ども達の成長が楽しみです。



☆秋季中体連県大会の詳細は、美々津中学校ホームページにPDF版で詳しく載せていますのでぜひご覧ください。

2 8日(木)の**参観日**には、多くの保護者の皆様方に来校していただき、ありがとうございました。授業を受ける子ども達の姿は、いかがだったでしょうか？3年生の懇談は、いよいよ進路決定が迫る中の「進学説明会」でした。3年生には、進路選択に当たって、迷いに迷う胸中についてのお話をいたしました。該当する四字熟語はありましたでしょうか？しかし、結論に達した今は、『**熟慮断行**』の時です。第3回の実力テストは終わり、テスト結果は返ってきますが、私立入試まではあと2ヶ月、県立入試までは3ヶ月余りあります。まだまだ勝負はこれから、これからが希望校合格に向かってぜひ自分の意志を断行するときです。健闘を祈ります！ また、1,2年生の皆さんも、まだ先のことではありません。その時期が確実に近づいています。「今、ここから準備をスタートすべきです！」事前準備を怠りなく！！

3 11月9日(金)には、**ひまわりフェスティバル**が日向市文化交流センターで開催されました。日向市内の各小中学校からの代表が出場する中、本校からは、3年A級が代表として。出場しました。

3年生の皆さんは、本番でも緊張する様子も見せず、実に堂々とした演奏を見せてくれました。あの広いホールに3年生の素敵な歌声・ハーモニーが響き渡ると何だか背中がゾクゾクするような感動を覚えた私でした。3年生達にとっても素晴らしい思い出になる事でしょう。

4 **よのなか教室**が、11/16(金)と19(月)に行われました。本校では、キャリア教育の一環として、子ども達に将来への夢を持たせるためのきっかけになればという意図で行っています。1学期の「マナー教室」「葦船冒険家」、そして先日の「旭建設WC清掃」に続き、今回は、延岡の「おそうじ本舗」松木寛希様、また、北海道から(株)アイブレイクの中村信仁様に来校いただき、人としての生き方や学力向上のために普段から必要なこと(人として磨いておかななくてはならないこと)等について、熱い熱い講話を頂きました。生徒全員が、食い入るように講話に聞き入っている姿を見て、美々津中学校の全職員が、子供の心に残る確かな手応えを感じた二つのキャリア教育となりました。 《※右上が松木氏の講話の様子、右下が中村氏の講話の様子》



【出番前の文化ホールにて】



立磐神社秋祭りに参加したぞ！

11月10、11日に行われた立磐神社の秋祭りに本校生徒が、「權伝馬踊り」と御輿のパレードに巫女に扮して参加しました。「權伝馬踊り」は、文化祭のステージでも披露してくれたのですが、祭り本番では、祭り衣装に着替えた3年生男子が、一層格好良く、秋晴れの青空の下、耳川河口にかけ声とともに船を漕ぎ出すとその姿は、まるで伝統と歴史を醸し出す歴史絵巻の様に映りました。御輿のパレードには、巫女姿の本校2、3年女子生徒が2名参加して祭りを盛り上げてくれました。

(※詳しくはホームページをご覧ください)



《いじめ・スマホに関するアンケートから》

先日、県が「いじめとスマホに関するアンケート」を小・中・高校生を対象に一斉に行いました。その結果から本校生徒の状況を中心に報告します。まずスマホ・携帯の所持率ですが、全校生徒の56%が所持しています。その中でインターネットをしている生徒が約80%。主に何をしているかという質問に対して回答が多かったのは、ゲーム=100%、音楽視聴=92%、動画(UT)=90%、SNS=82%、でした。

また、『家庭で使い方のルールがある』と答えた生徒は42%に留まっています。世間でのニュースを見ると、中学・高校生が被害者や加害者になっている事件も少なくありません。何かが起こった際に責任を負うのは、未成年の場合保護者です。子ども達の安全を守るためにもスマホ・携帯を持たせている家庭につきましては、今からでも『家庭での使用上のルール』を決めておかれるようにして下さい。宜しくお願いいたします。

いじめ調査の方は、今回冷やかしかや無視、遊ぶふりで叩く等が1、2名出ていましたが、いずれも家族・先生・友人に相談しており、現在は無くなっているという回答でした。

引き続き、学校としてもアンテナを張っていきますが、ご家庭でも子ども達の気になる様子がありましたら、いつでも学校にご相談下さい。SCの宮園先生も随時相談を受け付けています。遠慮なくいつでもご相談下さい。